

- ◎軽合金コンクールの首位は鳥海氏 2面
- ◎秋の褒章——永瀬勇氏が黄綬褒章 2面
- ◎労務費シミュレーションで勉強会 3面
- ◎宮地正己氏「現代の名工」に認定 3面
- ◎銑鉄鋳物生産量23カ月ぶり減少 4面

KAWAGUCHI FOUNDRY NEWS

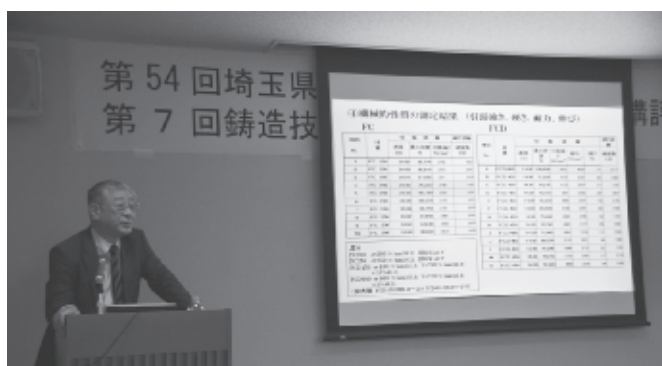
川口鋳物ニュース

編集兼発行人 総務委員会
発行所
川口市元郷2-1-3
川口鋳物工業協同組合
電話 (川口) 048(224)6200番(代表)
FAX 048-224-1536番
◎ホームページ・メールアドレス
http://www.kawaguchi-imono.jp
kumiai@kawaguchi-imono.jp

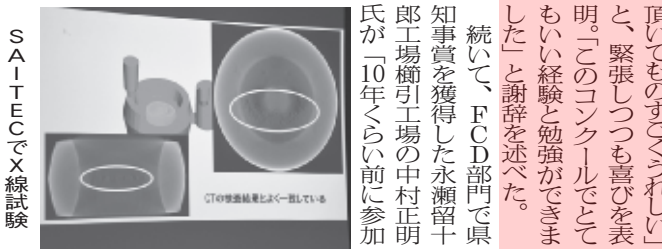
受賞工場・製作者名

FC部門	受賞内容	事業所・工場名	製作者名
1	埼玉県知事賞	(株)マスセイ	吉田真奈美
2	埼玉県産業労働部長賞	(株)大六鋳造	知久典生
3	川口鋳物工業協同組合理事長賞	(株)辻井製作所	白石隆也
4	川口市市長賞	富和鋳造(株)	伊藤 輝
5	(一社)日本鋳造協会会長賞	東洋鋳工(株)	秋葉結也
6	(一財)素材材センター会長賞	(株)椿本鋳工	岩本光史
7	川口機械工業協同組合理事長賞	前澤工業(株)	佐々木義徳
8	川口木型工業協同組合理事長賞	不二工業(株)	青鹿 洋
9	新日鐵住金(株)社長賞	不二工業(株)	佐々木清次

FCD部門	受賞内容	事業所・工場名	製作者名
1	埼玉県知事賞	(株)永瀬留十郎工場 櫛引工場	中村正明
2	埼玉県産業労働部長賞	東洋鋳工(株)	秋葉結也
3	川口鋳物工業協同組合理事長賞	(株)永瀬留十郎工場	大谷 充
4	川口市市長賞	(名)富岡鋳工場	富岡和洋
5	川口商工会議所会頭賞	(株)辻井製作所	高野寛之
6	(公財)川口産業振興公社理事長賞	(株)マスセイ	渡辺敏久
7	川口鋳物技術センター委員長賞	前澤工業(株)	新井崇史
8	埼玉鋳物技能士会会長賞	(株)大六鋳造	亀山慎吾
9	(株)神戸製鋼所社長賞	(株)椿本鋳工	森村功暉



第54回埼玉県第7回鋳造技術コンクール 第7回鋳造技術コンクール



SAITECでX線試験

第54回埼玉県第7回鋳造技術コンクール 第7回鋳造技術コンクール

産業界の礎として研鑽を

埼玉県鋳造技術コンクール 表彰式



FCの県知事賞に輝いたマスセイの吉田氏



FCDの県知事賞を獲得した永瀬留十郎工場櫛引工場の中村氏

埼玉県と川口鋳物工業協同組合が主催する「第54回埼玉県鋳造技術コンクール」の表彰式と講評会が11月15日、川口市上青木の埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)で開催された。最優秀賞に当たる埼玉県知事賞を獲得したFC(ねずみ鋳鉄 部門の(株)マスセイ、FCD(球状黒鉛鋳鉄)部門の(株)永瀬留十郎工場櫛引工場をはじめ、両部門で入賞した各9事業所に表彰状の授与と感謝状・記念品の贈呈が行われた。式典は組合と川口鋳物技術センターが主催する「第7回鋳造技術コンクール(軽合金)」の表彰式と併せて開かれた。(2面に関連記事)

県知事賞

FC部門 マスセイ初の栄冠

FCD(永瀬留十郎工場)櫛引工場4回目

埼玉県鋳造技術コンクールは1965年度(昭和40年度)から半世紀を越えて続く取り組み。組合員企業が技術力で切磋琢磨する場を設けることで、地場産業の鋳物工場の振興と鋳造技術の一層の向上を図るのが狙いだ。

川口市と(公財)川口産業振興公社、川口商工会議所、(一財)素材材センター、(一社)日本鋳造協会、川口機械工業協同組合、川口木型工業協同組合、川口鋳物技術センター、埼玉鋳物技能士会、(一財)川口工業

業会館、新日鐵住金(株)、(株)神戸製鋼所、(株)神鋼商事(株)の13団体・社の後援を受けて実施している。

今回はFC部門に9事業所から計10点、FCD部門に11事業所から同11点がそれぞれ出品された。三重県・桑名市・三重県鋳物工業協同組合など2007年度から実施している技術交流の一環として、FCD部門にはこれ以外に桑原鋳工(株)(桑名市)と(株)三輪鋳造(三重県いなべ市)の2社が「オープン参加」(表彰

の対象外)による出品を行った。表彰式の前には講評会を開催。鈴木克美審査委員長(ものづくり大学名誉教授・工学博士)が鋳鉄2部門と軽合金部門に出された製品について、それぞれ講評を行った。また、昨年から始めたSAITECの大型X線CT(コンピュータ断層撮影)装置による製品内部のX線透過試験の結果について、SAITECの担当官から説明があった。

表彰式ではまず、埼玉県石川寛實産業労働部副部長が挨拶し、参加者に敬意を表明。受賞者に「日頃が積み重ねられた研鑽の成果がいかに発揮されたもの」と祝意を示し、「さらに技術を磨いて、日本の産業界を牽引していただきたい」と呼びかけた。

女性の製作者初の頂点

入賞者の代表挨拶では、FC部門で県知事賞に輝いたマスセイの吉田真奈美氏が「限られた時間の中で仕事と両立させながら課題に取り組みのが難しく、なかなか納得のいくものができなかったので、県知事賞を頂いてもすごくうれしい」と、緊張しつつも喜びを表明。「このコンクールでとてもいい経験と勉強ができました」と謝辞を述べた。

続いて、FCD部門で県知事賞を獲得した永瀬留十郎工場櫛引工場の中村正明氏が「10年くらい前に参加した」と謝辞を述べた。

また、女性の製作者が県知事賞の栄冠を手にするのは、54年目を迎えたコンクールで初めて。また、マスセイの県知事賞も両部門を通じ初めて。一方、FCD部門で永瀬留十郎工場櫛引工場が頂点に立つのは2年ぶり4回目、永瀬留十郎工場グループとしては4年連続16回目。入賞者の作品については、SAITEC3階に展示している。

「今回の表彰式は、順位は下の方でしたが、今回は県知事賞を取って大変うれしく思っています」と挨拶。今回受賞できたのは、社長や部長の日頃の指導と先輩のアドバイスのおかげ。日頃の仕事の中でさらに技術を向上できるように努力していきたい」と語った。